



令和4年6月実施

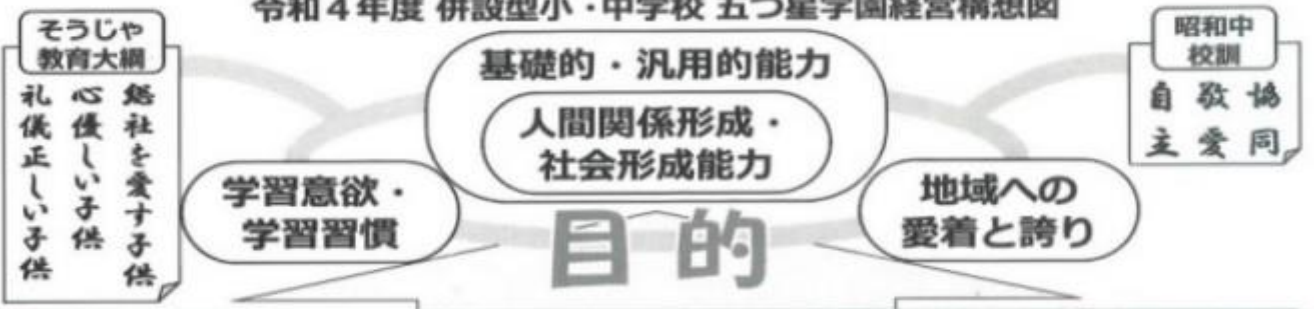
義務教育学校開校に関するアンケート結果  
(子ども・教師・保護者・地域の声)

令和4年8月4日

昭和地区義務教育学校開校準備委員会

(ランドデザイン小委員会)

令和4年度 併設型小・中学校 五つ星学園経営構想図

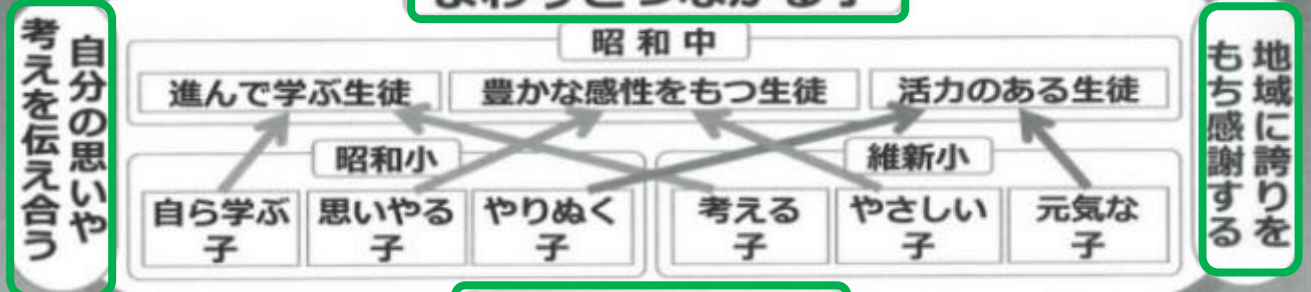


**[教育目標] 夢と希望をもって生き抜く五つ星学園っ子の育成**

昭和中：自ら考え、判断し、生き生きと活動する生徒の育成  
 昭和小：豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成  
 維新小：よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成

目指す子ども像

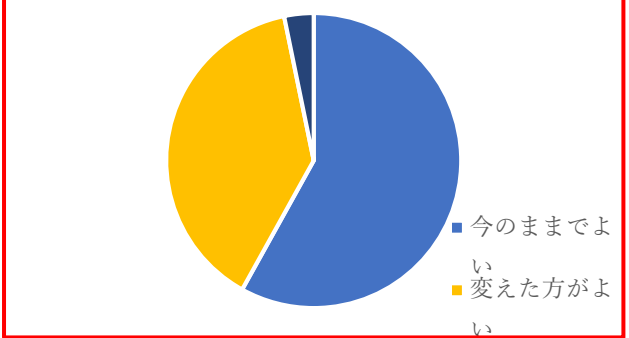
まわりとつながる子



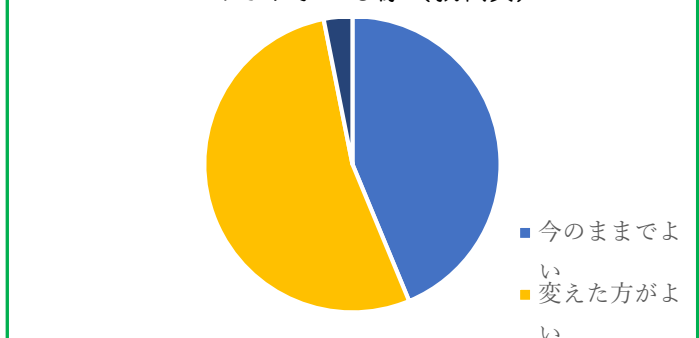
自分から挨拶をする

手	段
学習習慣の確立と学力の向上	挨拶などの基本的な生活習慣の確立と自己表現力・思いやりの心の育成
0→1プロジェクト 個に応じた補充的学習 小中相互授業参観, 研究 協同学習の実行度向上 岡山型学習指導のスタンダードの実行度向上 朝学習と読み聞かせ	挨拶や発表の指導徹底 早寝・早起き・朝ご飯 メディア・コントロール 生活習慣チェックカード ピア・サポート, SEL, PBIS キャリア教育講演会 上級学校体験入学
	地域への愛着と誇りの育成
	地域防災学習 五つ星学園こどもまつり インバウンド学習 地域のよさ, 英語で表現 豪州姉妹校交流事業 国際理解学習 幼小中一貫英語教育

学校目標 (教職員)

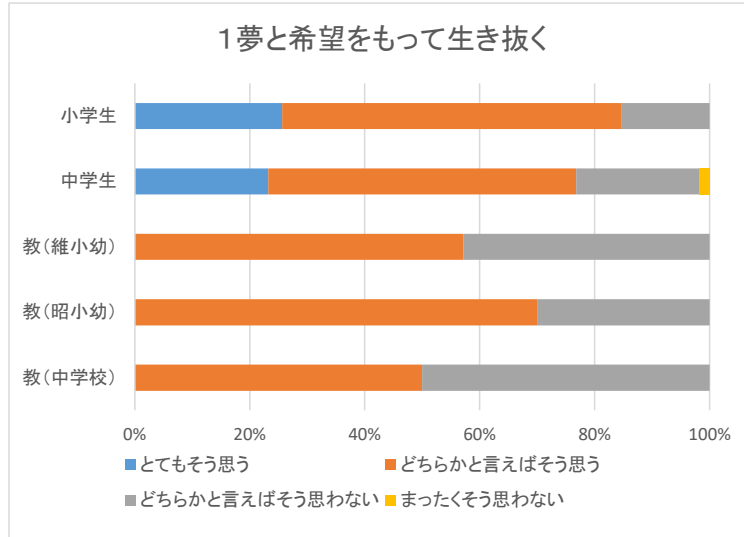


めざす子ども像 (教職員)



# Ⅰ 振り返り(小学生・中学生・教師)

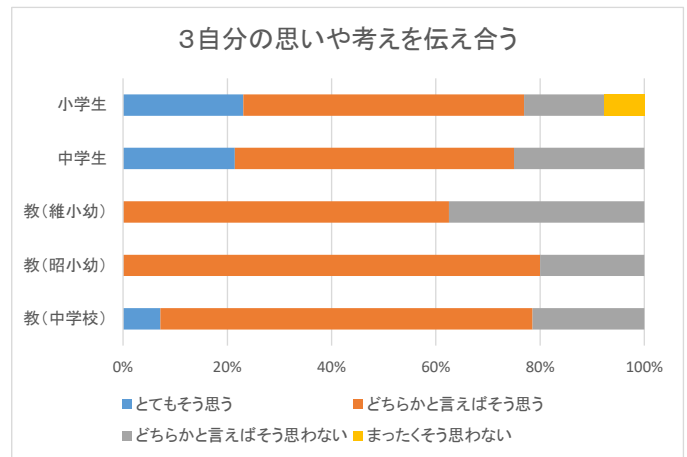
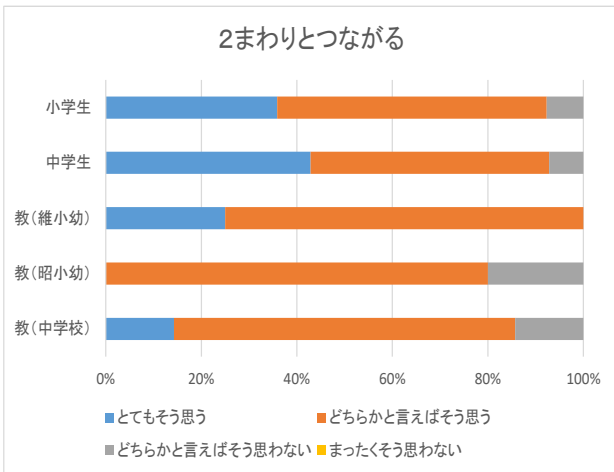
## 【学校教育目標】「夢と希望をもって生き抜く五つ星学園っ子の育成」



## 【目指す子ども像】

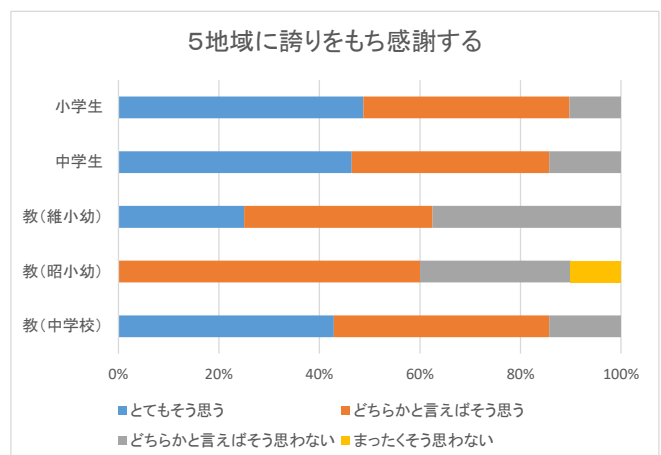
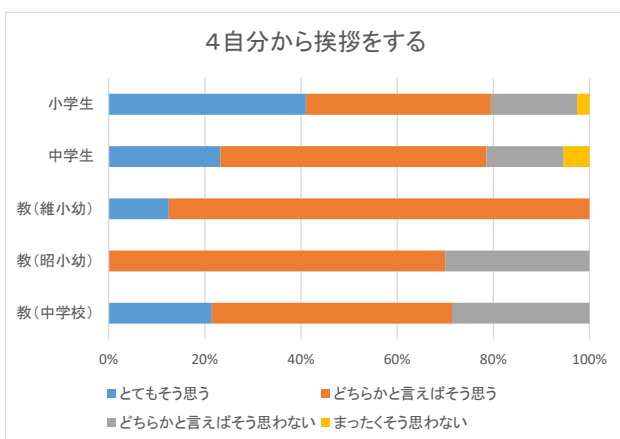
### ① まわりとつながる子

### ② 自分の思いや考えを伝え合う



### ③ 自分から挨拶をする

### ④ 地域に誇りをもち感謝する



## 2 どんな学校にしたいか（数字は同様の意見を書いた人数）

### （1）子ども

#### ①小学校5・6年生

- ・英語がじまんできる学校 ・思いやりのある学校 ・あいさつが多い学校
- ・元気では負けない学校 ・笑顔がたえない学校 ・協力やルールを守る学校
- ・昭和と維新の子どもが一つのチームでがんばりたい
- ・仲良く楽しい学校

#### ②中学校1年生

- ・仲が良い（少人数を生かす・男女のかべなくす・同級生以外とも仲良く）15
- ・英語特区9 ・あいさつ6 ・協力3 ・元気3 ・やさしい・おもいやり2
- ・環境を守る ・自然豊か2 ・気軽に意見を言える2 ・コミュニケーション2

#### ③中学校2年生

- ・英語教育特区・国際交流8 ・いじめなし、優しさ、仲が良い8
- ・気持ちのよいあいさつ7 ・楽しい4 ・協力4 ・元気明るい2 ・めりはり2 ・地域交流2
- ・「心」という文字を大切にしてほしい
- ・オリジナル給食

#### ④中学校3年生

- ・地域とのつながりを大切に4 ・協力4 ・英語2 ・仲良く2
- ・絆を大切に 一人一人の思いを尊重 ・一人一人を大切にできる ・友達・家族
- ・歴史 ・自由 ・きれいな学校 ・優しさ ・いろいろなところと交流・
- ・校歌、校訓、校章を大切にほしい3

## 2 どんな学校にしたいか

### (2) 教員

#### ① 目標

- ・10年後の世の中で生きて働く力 ・地域を愛し、社会を生き抜く五つ星学園っ子
- ・「生き抜く」は素敵なので、前半をもっと具体的にしたいほうがよいのでは、ex.地域
- ・Do Our Best ・豊かな心、自主性、たくましさ ・「生き抜く」をもっと具体的な表現に

#### ② 目指す子ども像

- ・自分を大切に、人を大切にする力 ・自分の考えを持つ力
- ・自分を表現する力（英語でもできたら最高） ・チャレンジする力 ・地域を愛する子
- ・心豊か ・全力でがんばる ・豊かな感性をもち、自己表現ができる生徒
- ・支え合い、つながり合い、高め合い ・協調、対話、探求 ・感動、信念、人間力
- ・知、徳、体、悠、誇、絆、活力、創造、自律、自立、豊かな心
- ・英語を通して「だれ行き」の成果を表現し、日常生活でコミュニケーション能力が高い生徒（「話せようが話せまいが他人と積極的に関わろうとする」）
- ・ICT 特区（仕事の事務で困らない程度のタイピング、ネットワーク、セキュリティー、動画作成、グラフィックデザイン、プレゼン能力など）生徒の実態に合う武器になる。
- ・物怖じせず英語を自ら進んで使ってみようとする力
- ・少人数でも互いが切磋琢磨しながら成長しようとする子ども
- ・どんな人も平等に受け止め、相手の立場に立って考え行動できる子ども
- ・失敗しても前向きに最後までやり抜こうとする子ども ・自分も周りも大切にできる子ども
- ・進んで取り組む力、前向きに考える、何事もあきらめない
- ・SEL や PBIS などの内容が中学校に引き継がれたり、つながりができるといいなと思う。
- ・友達を思いやる、やさしさ、人を大切にする
- ・たくましさ、やりぬく心の強さ、自ら学ぶ、進んで課題を解決する
- ・人を大切にする子、チャレンジする子、自分で考える子、考えを表現する子
- ・つながる（友達と、教師と、地域と、学習）
- ・「仲もよく、つよく、正しくがんばる子」が昭和小の校訓に近いものかと思う。
- ・いきいきと、主体的に、地域との連携（おひさまを含む）は欠かせないと思う。

#### ③ その他

- ・義務教育学校に併設される幼稚園の位置づけが不明瞭。構想図にも幼稚園が含まれていない。
- ・五つ星学園のデザインは継続して使用するのか？「美袋」の地名を英語に変換して「Beautiful bag」を活用したロゴも考えられる。美しい袋（地域の力）で子どもの成長を見守る…など。親しみやすいキャラクターなどを考えてみるのもおもしろい。子どもまつりの際にポスターやバザー店ののぼり、袋などで使用するのもよいと思う。
- ・地域防災学習として、避難所運営ゲームはどうか。自分を守る活動につながると思う。
- ・中学校の校訓（自主、協同、敬愛）は残したい。校歌の1～3番に校訓が入っているのが、とても良いと思っている。新しい校訓、校歌になっても校歌の詞の中に校訓を入れてほしい。
- ・校訓は、非認知スキルのカテゴリーに分けて、キャッチーな言葉に直すとよいのではないか。

## 2 どんな学校にしたいか

### (3) 保護者

① 目標「夢と希望をのせ、ともに育ち合う五つ星学園っ子の育成」

#### ② 目指す子ども像

- ・ピアサポート（仲間同士の支え合い）による関わり合いを通して、友達と助け合いながら社会性を育む。
- ・目標をもちやり抜く経験を通して自分でできることは進んでしようとする。
- ・地域や自分に誇りを持ち、感謝しながら、のびのび生活する。
- ・「あいさつ、ありがとう、ごめんなさい」が言える思いやりのある子
- ・思いやりのある子 ・相手を思いやる心優しい子
- ・コミュニケーション力、表現力
- ・新しいことに挑戦する力
- ・判断力
- ・困ったときに助け合える子
- ・みんな一人一人が兄弟のような仲の良い関係
- ・自然豊かな中で、のびのび学んでほしい
- ・地域の自然を大切にしてほしい
- ・自分で考えて行動できる子ども
- ・自己探求の力。自分らしく自分の強みを生かしながら幸せに生きていく。場面に応じて課題を発見し、解決していく能力を身につけてほしい。

#### ③ その他

- ・義務教育学校になるにあたり、横だけでなく縦のつながりが非常に大切になっていくと思うので、ピアサポートという言葉が同じ土俵で過ごす一体感を表すキーワードとなればよい。
- ・子どもたちが大人になって、「この学校の卒業生だ」と胸を張って言える学校であってほしい。
- ・幼稚園でも英語に触れる機会がもっと増えるといいなと思う。
- ・学区外からの受け入れ（を進めてほしい）
- ・昭和地区に統合されても、今までどおり維新地区での取組や維新の地域住民の方々との関わりを大切にしてほしいと願っている。
- ・通学バスは維新学区の登下校で利用できるのか。おひさまの送迎も利用できないか。
- ・就学児の減少に起因した組織体制の合理化による一部統廃合であれば、教育施設分散型プランである限り極めて効果は低いと想像される。ハード面での新たな整備負担も送迎バス以外は最小限とすべきである。昭和幼稚園の特区化による学区外からの受け入れには賛成で、他にも就学児の増加を目的とした具体的政策を速やかに策定・実施してほしい。

(スローガン)

- ・子どもたちの未来を明るいものに！
- ・みんな仲良く明るい未来！

## 2 どんな学校にしたいか

(4) 地域の方 (第1回学校運営協議会・地域連携協議会 (R4.6.29) において「目標や目指す子ども像などについて」を協議した概要)

### ①目標

- ・目標や手立てとしてとして、これからの時代を生き抜くにはどれも重要な項目である。
- ・もっと具体的な場面を想定した方が指導しやすいし、評価もしやすいのではないか。
- ・現在の状況下の中でよくできている。地域の中で取り組んで次第に育ってきている。
- ・このままでよい。きつきつにせず、具体的な目標で評価していけばよいのではないか。
- ・夢がなくても生きていける時代になっているが、夢をもつことは生きがいになる。
- ・「時代を生き抜く」は「ともに生きる」の表現の方がやわらかくなる。「地域」を入れる。
- ・将来的に地域に残って盛り上げていくためには、今の子どもたちに希望を与えてやる必要がある。下地を作っていく。地域の活性化。
- ・人間同士のつながりが大切。人間としての基本の部分で悲しみやうれしみを大切に。人としての原点を基本にしていくのが大切。その底辺ができていけば積み重ねていくことができる。そういう地域で育ってきたし、これからも大切にしたい。その受け皿があるのが昭和。
- ・どんな夢や希望か分かれば地域の人たちも協力できる

### ②「まわりとつながる」

- ・ザリガニ取りなど地域の方とよく関わっている。
- ・総社東西中に比べて人数が少ない分、まわりとつながりは強い。
- ・子どもたちと関わることがたくさんあれば…輪くぐりなど地域行事に子どもたちが来てくれると敷居が低く手取り足取り教えられる。

### ③「自分の思いや考えを伝え合う」

- ・自分の思いを自分以外の人に伝えられることが大切

### ④「あいさつ」

- ・よく挨拶してくれる。こちらがしてやれば、子どもたちもしてくれる。以前はこちらからだっただが、最近は子どもたちからあいさつしてくれる。

### ⑤「地域を誇りに思い感謝する」

- ・できている。 ・具体的でない。
- ・地域で生まれた子がどれだけ地域に残っているか？大國屋は同級生のグループが活躍されている。魅力を感じるようにしていきたい。
- ・義務教育学校かするに当たって子どもはどう考えているのか。卒業すれば関係ない？地域のことをよく知って、知らない人の中に入ったときどうなるかが大切。

### ⑥その他

- ・構想図は、地域と子どもを結び付けようとし過ぎの面もある。まずは家庭。
- ・難しい言葉でなく、きらきら、いきいき、など。
- ・田んぼに草取りに行く、とか何気ないところでの関わりを計画してしまうと難しいところもあるのではないか。(R3は計画していなくても、地域にポスターを貼っていると来てくれることもあった。)